

国語科 中学校 3年

単元の流れ (全7時間)

【第1時】

主な学習内容

- ・学習の見通しを立てる。
- ・小学生に向けた説明のグループテーマを決める。
(2人組・テーマは「物」に限定する。)

生徒の様子はこちら

「活用」の力育成のために
相手が興味をもつテーマを選択する。(ポイント①③)

【第2時】

主な学習内容

- ・指導書付録のCDや、過去の映像でイメージを作る。
- ・グループテーマについて図書室で調べる。

CLICK

【第3時】

主な学習内容

- ・インターネット等を活用し、グループテーマについて調べる。
- ・説明用の画像を作成する。

CLICK

生徒の様子はこちら

「活用」の力育成のために
情報を集め、選択し、整理する。
(ポイント①③④)

【第4時】

主な学習内容

- ・発表準備を行う。

生徒の話合いの様子はこちら

(本時)

CLICK

「活用」の力育成のために
相手を意識した説明の仕方を工夫する。(ポイント②)

【第5時】

主な学習内容

- ・発表準備を行う。
- ・リハーサルを行う。

「活用」の力育成のために
相手を意識した表現を工夫する。(ポイント②)

【第6・7時】

- ・相互評価、自己評価を行う。

「活用」の力育成のために
学習の成果と過程を評価する。(ポイント⑤)

CLICK

自己評価シート・相互評価シートはこちら

※ 実際に地元の小学校に出向いて、説明会を行い、小学生からの評価をもらい、フィードバックを行う。

HOME

本時の流れへ

CLICK

単元名 相手を意識して伝えよう
—わかりやすく話す—
光村図書「国語3」

単元目標

- 場の状況や相手の様子に応じて分かりやすく話す工夫をする。
- 自分の体験や知識を整理して考えをまとめ、資料などを活用して説得力のある話をする。
- 相手に合わせて語句や文を効果的に使い、話す速度や間の取り方を工夫する。

単元構成の意図

- ・情報の発信について、相手を意識することの必要性を、具体的に学ばせる。
- ・テーマを選び、情報を集め、整理し、組み立てる過程を、目的意識をもちながら進めさせる。
- ・小グループ(2人)で作業することで、主体者としての体験と、違った視点からの気づきの両方を体験的に学習させる。
- ・相互評価、自己評価、視聴者のフィードバック等さまざまな視点から学びを振り返らせる。

「活用」の力を育てるポイント

- ①相手の立場や状況を考え、相手にとって必要な情報を提供させる。
- ②相手の立場や状況を考え、表現方法を工夫させる。
- ③集めた情報の中から、必要なものを選択させる。
- ④複数の情報を解釈し、組み合わせを考えさせる。
- ⑤自らの学びの過程を振り返り、今後の学習につなげさせる。

小学生の評価シートはこちら

評価問題

CLICK